

### (3) ②様式第3号-2 (報告書)

|                                                |                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NITS・教職大学院・<br>教育委員会等<br>コラボ研修プログラム<br>支援事業報告書 | 実施機関名：上越教育大学<br>連携機関名：上越市教育委員会（上越市立教育センター）、<br>上越市立高田西小学校                                                                                  |
|                                                | 事業名：【NITS・上越教育大学教職大学院コラボ研修】<br>通級による指導との連携による教科等の授業づくり                                                                                     |
|                                                | 研修等名：【NITS・上越教育大学教職大学院コラボ研修】<br>通級による指導との連携による教科等の授業づくり                                                                                    |
|                                                | 開催期間：令和6年5月13日（月）～令和6年12月23日（月）<br>開催場所：上越市立高田西小学校（新潟県上越市大貫1）<br>参加人数：研究発表会参加者総数30人（内訳：上越市立高田西小学校教員3人、上越市内小中学校教員21人、大学院生5人、上越市教育委員会指導主事1人） |

**目的：**  
令和5年度【NITS・上越教育大学教職大学院コラボ研修】の成果を踏まえ、安藤（2001;2021）及び北川・安藤（2019）の知見を参考にして、個別の指導計画作成と教科の授業づくり研修を行う。その効果を確認するために、通級担当教師が自立活動の時間における指導と各教科等の学習をどう関連付けようとしたのか、教師の省察内容について、インタビュー調査により明らかにする。また、本事例を上越市立教育センター研修で提供し、受講者が自身の実践や自校の研修体制を振り返りつつ、新たな気づきや課題を見出すことができるかを確認する。この場には、教職大学院在学中の現職教員に参加してもらい、教職大学院生の研修の場としての効果についても明らかにする。

**内容：**

1 通級指導教室における自立活動の時間の指導と関連を図った在籍学級における教科の授業づくり  
自立活動の個別の指導計画を活用した教師間の連携モデルの検討を以下の日程で実施した。なお、授業参観や授業づくりのための協議等は大学教員、大学院生あるいは上越市教育委員会指導主事、上越市内通級指導教室担当者も参加した。

- ・ ～5月上旬 連携モデルの検討、公開授業について  
実態把握図の作成：安藤(2021)北川・安藤(2019)を解説しながら作成
- ・ 5月13日（月）校内研修「自立活動の指導について」講師：藤井和子（オンライン研修）  
自立活動の意義、個別の指導計画作成と活用の目的について講話を行った。
- ・ 7月 5日（金）個別の指導計画に基づいた算数科の授業実践・授業参観①
- ・ 8月26日（月）個別の指導計画に基づいた算数科の授業実践②の検討（振り返り）
- ・ 10月28日（月）個別の指導計画に基づいた算数科の授業実践②の検討（指導案検討）
- ・ 11月15日（金）個別の指導計画に基づいた算数科の授業実践②の検討（算数科主任による実践的検討）
- ・ 11月22日（金）個別の指導計画に基づいた通級による指導の授業実践・授業参観②（公開）
- ・ 11月25日（月）公開授業の反省に基づく改善授業
- ・ 12月 6日（金）上越市立教育センターでの発表
- ・ 12月23日（月）研修振り返り 次年度の課題

2 上越市立教育センター研修  
上越市立教育センター研修として、1の成果を上越地域公立学校教員を対象に実施した。  
講師：高田西小学校教諭 水落あき子 上越教育大学教授 藤井和子  
自立活動の指導の実践として求められる通級による指導と各教科等の授業を関連付ける教員間連携の意義について藤井が講話した。水落教諭が公開授業の動画（編集有）を視聴しながら、自立活動の時間における指導と算数科の授業における対象児の学びの姿を関連付けて分析したものを発表した。参加者は、グループで実践の成果と課題について話し合い、発表した。

## 成果：

○動画による授業づくりプロセスの研修会への評価（回答数 21 肯定的回答 100%）

- ・大変有意義だった（15）・有意義だった（6）
- ・どちらともいえない（0）・あまり有意義でない（0）・有意義でない（0）

○自由記述による評価

- ・通級と通常の学級で連携している実践を見ることができることは貴重なので今後も機会があれば参加したい。
- ・教科学習におけるその子の姿を整理し、必要な手立てを考え実践することの価値や成果を教えていただいた。
- ・私も授業と自立活動を繋げて、児童の困り感が軽減するように支援したいと思いました。関係職員と連携して、抱え込まずにできることから始めたいと思います。

## 「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き

自立活動は、各教科等と異なり、個々の障害のある児童生徒の実態把握に基づき、個別に指導目標や内容を決定する領域である。故に、通級による指導においても個別の指導計画作成が義務付けられているが、その作成方法の開発は各学校に任されている。しかし、自立活動の指導の実績が少ない小学校では、その開発に困難を感じており、開発が進まない状況にある。そこで、本研修では、自立活動研究に基づく安藤（2001;2021）及び北川・安藤（2019）の知見を講義やカンファレンスを通じて提供し、その後、自立活動の指導について通級担当教師と通常学級担任が協働して実際に授業づくりを進める中で研修できるように工夫した。

本研修の結果、担任教師、通級担当教師は、一人では気づかなかった対象児の実態に気づき、個に応じた指導の手立てや授業展開等について、それぞれの役割に基づいて協働して開発する姿が見られた。また、研究授業を公開し、協議会を校内研修に位置付けたところ、自らの実践を省察し、通級担当教師との連携の改善の必要性に気づく姿も確認された。さらに、本研修の成果を上越市立教育センターにおいて発表したところ、受講者は自らの教育実践と関連付けながら自立活動の意義とは何かを問い直し、自身の実践の良さや課題に気づいていた。

安藤（2001;2021）の手続きは、自立活動の本質について自ら気づき学ぶことが促進されるようデザインされている。通級担当教師は自立活動の専門教師として、担任教師の気づきを促していた。今後は、その促しを明らかにし、受講者の主体的な学習をより促進できるような研修にしていけることが、研修担当者としての気づきである。

## アイデアや工夫したこと：

- ①特別支援学校においてその効果が確認されている安藤（2001；2021）北川・安藤（2019）の知見を小学校の通級による指導と教科等との関連を図る教師間連携の手続きとして応用した。
- ②抽出児童の実態把握、中心的課題の抽出、個別の指導計画作成から授業検討、教材検討といった授業づくりのプロセスを静止画と動画で編集し研修会において提供した。
- ③協議会では、大学院生も含めグループ討議を取り入れた。討議結果は、グループ毎にまとめ発表し共有した。

